

試験日程実例

選択領域

<大学名>

○長崎大学	1
○熊本大学	2
○鳴門教育大学	3
○日本大学	4
○玉川大学	5
○放送大学	6

必修領域

<大学名>

○長崎大学	7
○熊本大学	9
○鳴門教育大学	11
○日本大学	12
○玉川大学	13
○放送大学	15

平成25年度																								
講習の区分	教科指導, 生徒指導その他教育の充実に関する事項(選択)		講習時間数 6 時間																					
講習の名称	「生きる力」を育むための語学教育 第2言語習得論と異文化コミュニケーション論の視点から		講習形態 講義 グループワーク																					
開設者	長崎ウエスレヤン大学		定員 40 名																					
開設日/時間	平成25年8月8日(木) / 08:55~16:30	会場	長崎ウエスレヤン大学(諫早市) ウエスレー館 C-101教室																					
履修認定対象職種	教諭	主な受講対象者	小学校・中学校・高等学校教諭																					
・養護教諭・担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員: 齊藤仁志(現代社会学部) TEL:0957-26-1234(代表)																								
担当教員(分担担当者等)																								
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 狭義の語学教育の目標は語学力の向上となるかと思いますが、より大きな視点では、自己実現を支援するためのコミュニケーション力の向上があります。この講習ではコミュニケーションを支える柱として第2言語習得論と異文化コミュニケーション論の2つの視点から語学教育を見つめなおし、「生きる力」につなげたいと思います。4つの講義の中で、4種の教授法をご紹介します。 講習方法: 講義形式、グループワーク、異文化に関する疑似体験を行います。教育現場に応用していただけるよう様々な手法を行います。 講習到達目標: 言語教育の目的を再考し、コミュニケーション能力育成のための教育手法を考え実践することができる。																								
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) 人は言語により情報の収集、理解、発信を行っています。 本講義では「第2言語習得」と「異文化コミュニケーション論」の研究成果の一部を基に①外国語教育において「わかる」を「できる」に引き上げる言語学習方法、そして②情報の収集力・理解力・発信力を高める教室活動を紹介します。そしてこれらの言語運用あるいは人がとる行動の背景にある価値観の重要性を再認識し、価値観の相違を理解し伝えるトレーニングを体験します。 講習計画・内容																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容等</th> <th>時間</th> <th>担当教員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>オリエンテーション</td> <td>8:55~9:00</td> <td>齊藤 仁志</td> </tr> <tr> <td>講義 知識を運用力に転換する教授法 (シャドーイング) アクティブラーニング (LTD学習法)</td> <td>9:00~12:10 (休憩10分を含む)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>昼休憩</td> <td>12:10~13:00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>講義 異文化シュミレーション (アルパトラス) 異文化コミュニケーション (DIE法)</td> <td>13:00~15:40 (休憩10分を含む)</td> <td>同上</td> </tr> <tr> <td>休憩</td> <td>15:40~16:00</td> <td></td> </tr> <tr> <td>筆記試験</td> <td>16:00~16:30</td> <td>同上</td> </tr> </tbody> </table>				内容等	時間	担当教員	オリエンテーション	8:55~9:00	齊藤 仁志	講義 知識を運用力に転換する教授法 (シャドーイング) アクティブラーニング (LTD学習法)	9:00~12:10 (休憩10分を含む)	同上	昼休憩	12:10~13:00		講義 異文化シュミレーション (アルパトラス) 異文化コミュニケーション (DIE法)	13:00~15:40 (休憩10分を含む)	同上	休憩	15:40~16:00		筆記試験	16:00~16:30	同上
内容等	時間	担当教員																						
オリエンテーション	8:55~9:00	齊藤 仁志																						
講義 知識を運用力に転換する教授法 (シャドーイング) アクティブラーニング (LTD学習法)	9:00~12:10 (休憩10分を含む)	同上																						
昼休憩	12:10~13:00																							
講義 異文化シュミレーション (アルパトラス) 異文化コミュニケーション (DIE法)	13:00~15:40 (休憩10分を含む)	同上																						
休憩	15:40~16:00																							
筆記試験	16:00~16:30	同上																						
キーワード (生きる力) (言語の運用力) (異文化コミュニケーション)																								
成績評価の方法	成績評価は、試験の成績や講義中の課題への取組み等から総合的に判断します。																							
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。																							
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。																							
教科書・教材・参考書	参考図書 『シャドーイングと音読の科学』くろしお出版																							
各自で準備するもの	特になし																							
受講上の注意	1. 講習の名称が同じものは1度しか受講申込みはできません。 2. 遅刻は原則として認めません。 3. 昼食は、学生食堂も利用できます。但し、メニュー限定																							

講習コード	11023	開設講座名	小学校教育の最前線（家庭・算数）		
会場	熊本大学（熊本市）		開設日	平成 25 年 6 月 15 日	
時間数	6 時間	受講定員	30 人	受講料	6,000 円
対象職種	教諭		主な受講対象者	小学校教諭	
講習内容：					
<p>(算数) 本質的学習環境とはどのような概念かを、体験的学習を通して理解し、学習環境デザインの基本的な手法を解説する。</p> <p>(家庭) 小学校の食物教材について、その概要を把握し指導上の課題について検討する。講義だけでなく演習活動で食物の官能評価法を学び、児童の食育に活かせる指導力を習得する。</p>					
午前	講習テーマ	算数科の学習環境デザイン	担当者	佐々 祐之（教育学部）	
	講習の到達目標及びテーマ：				
	デザイン科学問う視点から日頃の授業設計を見直し、子どもたちが探究する活動を中心とした学習環境のデザインについての理解を深める。				
	講習の概要：				
	デザイン科学としての数学教育学という視点に立ち、学習環境のデザイナーとしての教師の役割について学ぶ。特に、体験的な学習を通して本質的学習環境という概念を理解し、学習環境デザインの基本的な手法についての理解を深める。				
	形態	講義			
	テキスト	当日、資料を配布する。	※事前準備要否	否	
評価：					
修了認定のための筆記試験（100 点満点）を、講習時間内に 30 分程度で実施する。					
講習受講希望者への事前連絡：					
特になし。					
午後	講習テーマ	食生活教育	担当者	沼田 貴美子（教育学部）	
	講習の到達目標及びテーマ：				
	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校の食物教材の内容について、その概要を把握し指導上の課題を検討する。 2. 食べ物の官能評価法を演習活動で学び、児童の食育に活かせる指導力を習得する。 				
	講習の概要：				
	小学校での食生活教育、特に調理実習指導上の問題点を取り上げ、児童の実態に応じた指導の在り方、教材・教具の活用法を考える。また、新しい視点を持った科学的な調理実習の指導法にも触れ、今後の指導にどのように活かしていくかを検討する。				
	形態	講義・演習			
	テキスト	当日、資料を配布する。	※事前準備要否	要	
評価：					
修了認定のための演習の課題まとめ及び筆記試験（100 点満点）を、講習時間内に 30 分程度で実施する。					
講習受講希望者への事前連絡：					
小学校の家庭科の教科書を持参ください。小学校家庭科指導上の課題を事前に知らせていただくと助かります。					

平成25年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

講習の区分	教科指導、生徒指導その他教育の充実に係る事項
講習の名称	特別支援教育の現状と課題
受講者定員	50人
受講対象者	小学校、中学校、特別支援学校教諭、養護教諭
開設日	平成25年6月16日
講習の形態	主として講義(一部演習)
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学 地域連携センター 1階 多目的教室 (予定)
担当講師	田中 淳一、津田 芳見
受講料	6,000円

講習の内容	特別支援学校や小中学校の特別支援学級等の発達障害児の行動、生理学的および病理学的特性を主に講義する。特に、知的障害やそれに関連する障害について、脳生理学的病変、臨床像、病因、病態、関連する疾患などについての基礎的知識の理解を深めることで、適切な教育的支援や指導法について考察する。また、小児科医の立場からの講義をもって、今後の展望について検討する。
講習のねらい	特別支援学校や小中学校の特別支援学級在籍の知的障害とそれに関連する障害について、脳生理学的機能病変、臨床像、病因、病態、関連する疾患などの基礎的理解を深めることを目的とする。また、障害のある児童生徒への医療的かわりについて理解し、適切な教育的支援に関連のある医療と教育の連携について、経験事例や文献から検討する。
講習到達目標	次の事項について理解し、説明することができる。 ① 知的発達障害者(発達障害を含む)の脳生理学的機能病変、臨床像、病因、病態 ② 知的発達障害者(発達障害を含む)の行動、生理学的および病理学的特性 ③ 発達障害に関する診断と医療 ④ 医療と教育の連携: 経験事例または文献を持ち寄りグループワークにより、知識を深める。受講者はできるだけ、経験事例を用意すること。
講習スケジュール	平成25年6月16日 8時50分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時20分～17時00分 履修認定試験 17時00分～17時10分 事後アンケート、連絡事項
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としませんが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。
持参するもの	筆記用具
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。

平成25年度教員免許状更新講習時間割〈必修領域, 選択領域〉

時 間	区分、曜日、講習タイプ	必修領域				選択領域(教科)	選択領域(共通)	
		8月1日(木)		8月2日(金)		8月5日(月)	8月6日(火)	8月7日(水)
		12時間講習(3時間講習×4)				6時間講習	12時間講習(6時間講習×2)	
9:00- 9:10	10分	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	
9:10-12:30	200分 (※休憩20分を含む)	①組 A-1	②組 B-2	①組 C-1	②組 D-2	講習番号3-A 講習番号3-B 講習番号3-C 講習番号3-D 講習番号3-E 講習番号3-F 講習番号3-G	講習番号4-A 講習番号4-B 講習番号4-C 講習番号4-D 講習番号4-E 講習番号4-F 講習番号4-G 講習番号4-H	講習番号5-A 講習番号5-B 講習番号5-C 講習番号5-D 講習番号5-E 講習番号5-F 講習番号5-G
12:30-13:15	45分	昼休み		昼休み		昼休み	昼休み	昼休み
13:15-13:25	10分	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	
13:25-16:45	200分 (※休憩20分を含む)	①組 B-1	②組 A-2	①組 D-1	②組 C-2	講習番号3-A 講習番号3-B 講習番号3-C 講習番号3-D 講習番号3-E 講習番号3-F 講習番号3-G	講習番号4-A 講習番号4-B 講習番号4-C 講習番号4-D 講習番号4-E 講習番号4-F 講習番号4-G 講習番号4-H	講習番号5-A 講習番号5-B 講習番号5-C 講習番号5-D 講習番号5-E 講習番号5-F 講習番号5-G
16:45-17:00	15分	休憩		休憩		休憩	休憩	休憩
17:00-18:00	60分	試験		試験		試験	試験	試験
18:00-18:15	15分							事後評価記入(全員)

選 択

(注意)

- ・ 講習教室については、後日、掲載します。
- ・ 必修領域の講習は、2クラスに分けて実施します。①組は受講者ID末尾奇数の方。②組は受講者ID末尾偶数の方。
- ・ 各講習のガイダンスは、講習実施教室で行います。
- ・ 事後評価票の記入は、講習最終日に全員お集まりいただいた後、実施します。

シラバス

開講日	平成25年8月6日(火)
主な受講対象者	小学校教諭・中学校教諭(英語)
講習の概要	子どもが言語を獲得する過程や認知発達段階を踏まえ、小学校でコミュニケーションの素地を養うには、どのようなカリキュラムを立て、どのような指導法を用いるのがよいか、言語教育に留まらず、子どもの教育に目を向けた視点で講義、実践演習をする。教員が実際に授業で使用できる基礎的な指導方法や英語表現も取り扱う。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母語を獲得する過程を学びながら、外国語の学び方のヒントを理解する 2. 小学校英語の理念とカリキュラムの立て方、指導法の基本を学ぶ 3. 小学校英語で実践できる内容を体験する 4. 教室英語を学ぶ
講習内容	<p>【9:20-10:35】講義「子どもの言語獲得とは」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの言語獲得の過程 2. 言語を獲得する能力を生かした外国語の指導について <p>【10:45-12:00】講義と演習「小学校英語とは」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「歌・チャンツの効果とは？」(講義)とチャンツを利用した実践演習 2. 「絵本の読み聞かせの効果とは？」(講義)と絵本の指導実践演習 <p>【12:50-14:05】演習「教室英語とは」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 英語を用いて指導する時のポイント 2. 教室英語の実践練習 <p>【14:15-15:30】演習「実習体験」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義・実践で学んだ内容を踏まえ、以下の内容で実習練習をする。 ・ グループ毎に模擬授業を披露し、コメントを出し合う <p>【15:50-16:50】筆記試験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 講義および演習で行った内容について筆記試験をする。

■ 修了認定試験

講習科目シラバス（巻末）に記載されている時間割に従って、修了認定試験が実施されます。受験票と異なる試験日・時間での受験はできません。必ず、受験票に記載されている日時、試験会場（試験室）で受験してください。複数の試験室で同じ講習科目の試験を行う場合がありますので、受験する試験室を間違えないようご注意ください。

【試験日・試験会場・時間割】

修了認定試験日 ※インターネット申込み時に選択した日	8月24日（土）または25日（日）
--------------------------------------	-------------------

修了認定試験会場 ※インターネット申込み時に選択した試験会場	放送大学各学習センター・サテライトスペース ※所在地等は、巻末の修了認定試験会場一覧をご覧ください
------------------------------------------	------------------------------------------------------

修了認定試験時間割	
時限・時間	科目名
1時限目 10:00~10:30	学校経営
2時限目 10:50~11:20	現代の生徒指導
3時限目 11:40~12:10	スクールカウンセリング
昼休み 12:10~13:10	
4時限目 13:10~14:00	教育の最新事情
5時限目 14:20~14:50	環境教育の実践
6時限目 15:10~15:40	情報社会に対応した学校教育
7時限目 16:00~16:30	小学校外国語活動（英語活動）概論

選択

選択

平成25年度				h002
講習の区分	教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項(必修)	講習時間数	12時間	
講習の名称	学校を巡る教育事情及び子どもの変化に対応した取組	講習形態	講義	
開設者	長崎大学	定員	110名	
開設日/時間	1日目)平成25年6月1日(土) / 8:55~16:30 2日目)平成25年6月2日(日) / 9:00~16:30			
会場	長崎県教育センター(大村市) 別館 講堂			
履修認定対象職種	教諭と養護教諭	主な受講対象者	全学校種	
担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員: 呉屋 博				
担当教員(分担担当者等) 呉屋 博(教育学部)、井口 均(教育学部)、江頭明文(地域教育連携・支援センター) 柳田泰典(教育学部)				
講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい: 学校教育を巡る状況、教育政策の動向、子どもの生活の現状、教育における連携・協力の在り方について学習し学校教育の向上につながる知見を深める。 講習方法: 各担当講師が3時間ずつ講習し、担当講師の分野別に各40分間の筆記試験を行う。プリント資料を配付する。 講習到達目標: 学校教育を巡る近年の状況変化について理解する。子どもの生活の変化について理解する。教育行政の動向について理解する。家庭・地域社会等との連携・協力の在り方について理解する。カウンセリングマインドに基づく指導について理解する。				
講習内容(概要) / 講習計画(時間毎の講習内容を含む) / キーワード 講習内容(概要) 教職についての省察(学校を巡る状況変化、専門職たる教員の役割)、子どもの変化についての理解(子どもの発達に関する課題、子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方)、教育政策の動向についての理解(学習指導要領改訂等の動向、その他の動向)、学校の内外における連携協力についての理解(各種課題に対する組織的対応の在り方、学校における危機管理上の課題)、の4つの事項について考察する。				
講習計画・内容 平成25年6月1日(1日目)				
	内容等	時間	担当教員	
	オリエンテーション	8:55~9:00 (5分)	呉屋 博	
	講義1【教職についての省察】(休息20分を含む)	9:00~11:40 (160分)	呉屋 博	
	筆記試験1	11:40~12:20 (40分)	呉屋 博	
	昼休憩	12:20~13:10 (50分)		
	講義2【子どもの変化についての理解】(休息20分を含む)	13:10~15:50 (160分)	井口 均	
	筆記試験2	15:50~16:30 (40分)	井口 均	
平成25年6月2日(2日目)				
	内容等	時間	担当教員	
	講義3【教育行政の動向について】(休息20分を含む)	9:00~11:40 (160分)	江頭明文	
	筆記試験3	11:40~12:20 (40分)	江頭明文	
	昼休憩	12:20~13:10 (50分)		
	講義4【学校内外での連携協力についての理解】(休息20分を含む)	13:10~15:50 (160分)	柳田泰典	
	筆記試験4	15:50~16:30 (40分)	柳田泰典	

キーワード (学校経営参画) (カウンセリングマインド) (学習指導要領) (危機管理)	
成績評価の方法	成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取組等から総合的に判断します。
成績評価の基準	成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。
履修認定の方法	成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。
教科書・教材・参考書	指定図書はありません。
各自で準備するもの	なし
受講上の注意	1. 遅刻は原則として認めません。 2. この講習は、12時間(2日間)連続して受講しなければ認定されません。

h002

科目コード	11003	開設講座名	教育の最新事情		
会場	熊本大学 (熊本市)		開設日	平成25年7月6日～ 平成25年7月7日	
時間数	12時間	受講定員	60人	受講料	12,000円
講習内容：					
1) 今日の子どもをめぐる状況に目を向けつつ、教育思想史を手がかりに、人間の自己完成と教育の使命等について考察する。 2) 学習指導要領の趣旨を踏まえ、知識・技能を活用する学習活動や意欲を喚起する学習指導についての理解を深める。 3) 社会構造の変化に伴う発達の様相の変化、自立に必要な能力の変化、絆の消失とそれらへの対処法について理解を深める。 4) ソーシャルワークの原理・原則を理解し、ソーシャルワーク技法を用いた児童・生徒・保護者支援について学ぶ。					
7 月 6 日 (土) 午 前 9:00 5 12:10	講習テーマ	人格と教育	担当者	東谷 孝一 (熊本保健科学大学)	
	講習の到達目標及びテーマ： 今日の子どもをめぐる状況の変化に目を向けながら、教育に携わる人たちにとっての課題を浮かび上がらせる。教育思想史に手がかりを求め、教育の本質・目的を反省しながら、現在の子どもの実態に応じた成長の支援のあり方を考える。				
	講習の概要： 1. 子どもをめぐる状況の変化に目を向け、教育に携わる者にとっての課題を浮かび上がらせる。 2. 教育思想史に手がかりを求めながら、教育の本質・目的について反省する。 3. 人格の尊厳とヒューマンイズムの教育思想について考察する。 4. 愛における人間の完成と教育における愛の重要性について考察する。				
	形態	講義とグループ討議			
	テキスト	当日、資料を配布する。	※事前準備要否	否	
	評価： 修了認定のための筆記試験(100点満点)を、講習時間内に30分程度で実施する。				
	講習受講希望者への事前連絡： 特になし。				
7 月 6 日 (土) 午 後 13:10 5 16:20	講習テーマ	今求められる学力と学習指導の改善	担当者	根本 まり子(熊本県立教育センター)	
	講習の到達目標及びテーマ： 平成20年改訂の学習指導要領の基本的な考え方と今求められる学力について、改正法令や国の審議会答申等を基に理解を深める。また、学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の改善、特に、知識・技能を活用する学習活動や意欲を喚起する学習指導について理解を深める。				
	講習の概要： 1. 学習指導要領の基本的な考え方と今求められる学力と学習指導の改善について資料から学び、自己(自校)の課題について考える。 2. 知識・技能を活用する学習活動や意欲を喚起する学習指導について授業アイデア例の提供と、演習やグループ協議を通して理解を深める。				
	形態	講義、演習、グループ協議			
	テキスト	当日、資料を配布する。	※事前準備要否	否	
	評価： 修了認定のための筆記試験(100点満点)を、講習時間内に30分程度で実施する。				
	講習受講希望者への事前連絡： 特になし。				

7 月 7 日 (日) 午 前 9:00 5 12:10	講習テーマ	子どもの変化についての理解	担当者	知久馬 義朗 (教育学部)
	講習の到達目標及びテーマ： 社会構造の変化に影響されて生じてきた発達の様相の変化を把握する。また、人間同士の絆が消失する原因の把握、人間が自立するのに必要な能力の変化の把握、その上での対処法を考える。			
	講習の概要： 以下の諸点の考察と相互の関係づけを行う。 1. 心身の発達に及ぼす文化と流行の影響 2. 価値の喪失と絆の消失と自己の曖昧化 3. 社会の高度産業化によって求められる能力 4. 少年期の課題と青年期の課題の違い			
	形態	講義		
	テキスト	当日、資料を配布する。	※事前準備要否	否
	評価： 修了認定のための筆記試験（100点満点）を、講習時間内に30分程度で実施する。			
講習受講希望者への事前連絡： 特になし。				
7 月 7 日 (日) 午 後 13:10 5 16:20	講習テーマ	教育現場におけるソーシャルワーク技法の活用	担当者	永野 典詞 (中九州短期大学)
	講習の到達目標及びテーマ： 1. 教育現場におけるソーシャルワーク技法を用いた支援の必要性・重要性を理解し、ソーシャルワーク技法の活用法と問題への対応策を習得する。 2. 児童・生徒の対人関係構築支援、コミュニケーションスキルの向上を目指した指導の在り方を学ぶ。 3. 学校と地域社会・保護者との良好な関係性構築及び、社会福祉と学校教育の連携拡大を目指すため、他専門職種との連絡調整及びコーディネート機能について学習する。 4. 学校内における危機管理について、生徒、児童への適切な対応を習得する。また、校内外の安全確保のための方策を学ぶ。			
	講習の概要： 1. ソーシャルワークの基礎理論に関する講義と演習により、地域社会や保護者との良好な関係性を構築すること、かつ他専門職種との連絡・コーディネート機能について系統的に学ぶ。 2. 児童・生徒の対人関係を構築するためのコミュニケーションスキルを身に付けるための方法を学ぶ。 3. 学校内における危機管理として不適応な行動をとる児童、生徒への対応についてソーシャルワーク技法を用いた支援・指導の実際を理解する。また、安全確保として、学校と地域との関係性について学ぶ。 4. 演習では教育現場での児童、生徒や保護者との関わりについて、グループワークにおいて議論を深め問題解決の糸口を探る。			
	形態	講義及び演習		
	テキスト	当日、資料を配布する。	※事前準備要否	否
	評価： 修了認定のための筆記試験（100点満点）を、講習時間内に30分程度で実施する。			
講習受講希望者への事前連絡： 特になし。				

平成25年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

必修領域	
講習の区分	教職についての省察並びに子どもの変化、教育政策の動向及び学校の内外における連携協力についての理解に関する事項
講習の名称	教育の最新事情
受講者定員	150人
受講対象者	全教員
開設日	平成25年7月6日～平成25年7月7日
講習の形態	主として講義
講習時間	12時間
講習会場	鳴門教育大学 講義棟 1階 B101講義室、2階 B201講義室（予定）
担当講師	鳴門教育大学 大学院 学校教育研究科 教員 8名（現在調整中）
受講料	12,000円
講習の内容	教育の最新の事情の4つの柱である「教職についての省察」「子どもの変化についての理解」「教育政策の動向についての理解」「学校の内外における連携協力についての理解」を更に8科目に分けて、専門領域に近い講師を配置し、より実践的・専門的な内容を提供することにより、受講者の教育観・指導観・学校観等に揺さぶりをかけるような講習とする。
講習のねらい	今日的な教育の最新事情を、総合的・専門的に学ぶことにより、これまでの自らの教職の歩みを振り返りつつ、これからの新たな10年に向けた使命と役割について認識を深め、子ども理解力、指導力及び学校改善への意欲の向上を図る。
講習到達目標	次の事項について理解し、説明することができる。 ① 学校を巡る近年の状況の変化 ② 教員・学校に対する国民の期待 ③ 子どもの発達に関する最新の科学的知見の概要 ④ 子どもの生活の変化を踏まえたコミュニケーション・指導の在り方 ⑤ 学習指導要領の改訂の動向等 ⑥ 教育改革の動向の概要 ⑦ 様々な問題に対する組織的対応の必要性 ⑧ 学校における危機管理の必要性
講習スケジュール	平成25年7月6日～平成25年7月7日 第1日目 8時50分～9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時20分～17時00分 履修認定試験（4問から1問解答） 第2日目 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義 14時40分～16時10分 講義 16時20分～17時00分 履修認定試験（4問から1問解答） 17時00分～17時10分 事後アンケート、連絡事項
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としてますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。
持参するもの	筆記用具
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。

平成25年度教員免許状更新講習時間割＜必修領域，選択領域＞

時 間	区分，曜日， 講習タイプ	必修領域				選択領域(教科)	選択領域(共通)	
		8月1日(木)		8月2日(金)		8月5日(月)	8月6日(火)	8月7日(水)
		12時間講習(3時間講習×4)				6時間講習	12時間講習(6時間講習×2)	
9:00- 9:10	10分	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	
9:10-12:30	200分 (※休憩20分を含む)	①組 A-1	②組 B-2	①組 C-1	②組 D-2	講習番号3-A 講習番号3-B 講習番号3-C 講習番号3-D 講習番号3-E 講習番号3-F 講習番号3-G	講習番号4-A 講習番号4-B 講習番号4-C 講習番号4-D 講習番号4-E 講習番号4-F 講習番号4-G 講習番号4-H	講習番号5-A 講習番号5-B 講習番号5-C 講習番号5-D 講習番号5-E 講習番号5-F 講習番号5-G
12:30-13:15	45分	昼休み		昼休み		昼休み	昼休み	昼休み
13:15-13:25	10分	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	ガイダンス	
13:25-16:45	200分 (※休憩20分を含む)	①組 B-1	②組 A-2	①組 D-1	②組 C-2	講習番号3-A 講習番号3-B 講習番号3-C 講習番号3-D 講習番号3-E 講習番号3-F 講習番号3-G	講習番号4-A 講習番号4-B 講習番号4-C 講習番号4-D 講習番号4-E 講習番号4-F 講習番号4-G 講習番号4-H	講習番号5-A 講習番号5-B 講習番号5-C 講習番号5-D 講習番号5-E 講習番号5-F 講習番号5-G
16:45-17:00	15分	休憩		休憩		休憩	休憩	休憩
17:00-18:00	60分	試験		試験		試験	試験	試験
18:00-18:15	15分							事後評価記入(全員)

(注意)

- ・ 講習教室については，後日，掲載します。
- ・ 必修領域の講習は，2クラスに分けて実施します。①組は受講者ID末尾奇数の方。②組は受講者ID末尾偶数の方。
- ・ 各講習のガイダンスは，講習実施教室で行います。
- ・ 事後評価票の記入は，講習最終日に全員お集まりいただいた後，実施します。

必修

必修領域:教育の最新事情

開講日	平成24年8月1日(水)～8月2日(木)	使用教室	A組:大学8号館423教室 B組:大学8号館424教室
担当講師	森山 賢一(教育学部 教授)・田原 俊司(教職大学院 教授) 坂野 慎二(教育学部 教授)・福本 みちよ (通信教育部 准教授)		
主な 受講対象者	小学校教諭、中学校教諭、高校教諭		
講習の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職についての省察 (学校を巡る近年の状況変化・教員としての子ども観、教育観についての省察) 2. 子どもの変化についての理解 (子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見・子どもの生活の変化を踏まえた課題) 3. 教育政策の動向についての理解 (学習指導要領の改訂の動向等・法令改正及び国の審議会の状況等) 4. 学校内外の連携協力についての理解 (様々な問題に対する組織的対応の必要性・学校における危機管理上の課題) 		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教職についての省察(担当講師:森山 賢一) 学校教育を巡る近年の問題・課題状況を客観的かつ具体的に把握するとともに、その社会的背景についての理解を深める。子ども観と教育観の変遷を辿ることで、自らが抱いている子ども観、教育観、学校教育観を評価する。自らの教職生活を振り返る機会を提供し、教職を取り巻く問題状況を確認するとともに、教員に求められている役割への期待、およびその役割を果たすための資質能力を確認する。 2. 子どもの変化についての理解(担当講師:田原 俊司) 学校の様々な今日的課題の要因となっている子どもの変化について、発達の視点や特別支援教育の視点から理解するとともに、様々な子どもたちの状況に対応できるための考え方や方法について理解する。 3. 教育政策の動向についての理解(担当講師:坂野 慎二) 新学習指導要領の総則の趣旨を理解する。その他近年の状況を踏まえ、学校教育政策の動向を理解する。教育政策における近年の法令改正や国際的な動向などを理解する。 4. 学校内外の連携協力についての理解(担当講師:福本 みちよ) 学校を巡る各種の課題に対し、組織的にどう対応すべきかについて、知識と技法を学ぶ。課題として学ぶ内容は、第一に、学校としての組織的取組を実践する際の、教員のマネジメント・マインドの在り方を理解する。第二に、保護者や地域住民との連携協力を推進し、効果的なコミュニケーションを構築するにはどうすべきかである。第三に、学校における危機管理の現状と課題を整理し、組織的対応のあり方を学ぶ。 		
講習内容	<p>教職についての省察(担当講師:森山 賢一) 8月1日(水)</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 学校を巡る状況変化 <ol style="list-style-type: none"> ①学校の今日的課題を把握し、その背景を考える。 ②求められる学校教育とは何なのか。世論だけに流されずにその本質を考える。 ③教員が抱える問題を、社会環境の変化、特に保護者との在り方、を中心に考察する。 (2) 子ども観と教育観 <ol style="list-style-type: none"> ①子ども観および教育観の変遷を理解する。 ②社会変化と子ども観および教育観の関係を理解する。 ③子どもと大人の関係、および児童生徒と教師の在り方と教育の在り方の関係を理解する。 (3) 教員の責務と期待 <ol style="list-style-type: none"> ①公教育を担う学校教員としての法的性格を確認する。 ②保護者および国民が期待する教師像を理解するとともに、その背景を考える。 ③専門職たる教師の役割とは何なのかを、おとなの視点だけでなく子どもの視点からもとらえなおす。 		

必修領域：教育の最新事情 (つづき)

講習内容

- 子どもの変化についての理解(担当講師：田原 俊司) 8月1日(水)
- (1) 子どもの発達に関する脳科学、心理学の最新の知見
 - ①「ストレス関連障害や発達障害、動機付け」と脳のメカニズムとの関係についての検討。
 - ②ミラーニューロンと「心の理論」の検討。
 - ③発達障害のある子どもたち(広汎性発達障害、LD、ADHDなど)の実態を理解する。
 - ④発達障害のある子どもへの指導方法を探る。
 - (2) 子どもの生活の変化を踏まえた適切な指導の在り方
 - ①不登校・「いじめ」・虐待など子どもたちの今日的な課題の実態と要因を理解する
 - ②子どもたちの生活の変化を踏まえた親子関係の在り方を探る。
 - ③認知療法などの心理療法を含めた適切な指導法を検討する。

- 教育政策の動向についての理解(担当講師：坂野 慎二) 8月2日(木)
- (1) 学習指導要領改訂等の動向：
 - ①2008年1月の中教審答申「学習指導要領の改善について」の概要
 - ②2008/09年告示の小・中・高等学校学習指導要領の概要
 - ③学習指導要領の総則、各教科等の変更点
 - (2) その他の教育改革の動向：
 - 1998年以降の教育政策(中教審等)・法令改正等の概要

- 学校内外の連携協力についての理解(担当講師：福本 みちよ) 8月2日(木)
- (1) 学校における組織的対応の基盤：
 - ①組織としての学校
 - ②学校組織の一員として求められるマネジメント・マインドの形成
 - (2) 保護者・地域住民との連携による学校づくり：
 - ①「保護者・地域の学校参画」という発想の導入
 - ②「保護者・地域の学校参画」の促進
 - ③効果的なコミュニケーションの形成に向けて
 - (3) 学校における危機管理上の課題
 - ①学校における安全教育と安全管理
 - ②近年の学校安全に関する政策動向
 - ③保護者・地域との協働による「学校防災機能」の強化

【2日間(12時間)の講習】

1日目

9:20	10:50	11:00	12:30	13:20	14:50	15:00	16:30
講義	休憩	講義	昼食	講義	休憩	講義	

2日目

9:20	10:35	10:45	12:00	12:50	14:05	14:15	15:30	15:50	16:50
講義	休憩	講義	昼食	講義	休憩	講義	休憩	試験※	

■ 修了認定試験

講習科目シラバス（巻末）に記載されている時間割に従って、修了認定試験が実施されます。受験票と異なる試験日・時間での受験はできません。必ず、受験票に記載されている日時、試験会場（試験室）で受験してください。複数の試験室で同じ講習科目の試験を行う場合がありますので、受験する試験室を間違えないようご注意ください。

【試験日・試験会場・時間割】

修了認定試験日 ※インターネット申込み時に選択した日	8月24日（土）または25日（日）
-------------------------------	-------------------

修了認定試験会場 ※インターネット申込み時に選択した試験会場	放送大学各学習センター・サテライトスペース ※所在地等は、巻末の修了認定試験会場一覧をご覧ください
-----------------------------------	------------------------------------------------------

修了認定試験時間割	
時限・時間	科目名
1時限目 10:00~10:30	学校経営
2時限目 10:50~11:20	現代の生徒指導
3時限目 11:40~12:10	スクールカウンセリング
昼休み 12:10~13:10	
4時限目 13:10~14:00	教育の最新事情
5時限目 14:20~14:50	環境教育の実践
6時限目 15:10~15:40	情報社会に対応した学校教育
7時限目 16:00~16:30	小学校外国語活動（英語活動）概論

必修